

2023年9月21日

課題名：高齢去勢抵抗性前立腺癌患者に対するカバジタキセルの安全性の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、カバジタキセル（ジェブタナ）を投与された去勢抵抗性前立腺癌患者さんについてその安全性を調べています。本研究では、カバジタキセル投与による有害事象出現の減少を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年5月から、2023年5月までの間に、去勢抵抗性前立腺癌であると診断されカバジタキセルが投与された方。

◆研究に使用される情報◆

カルテ上の治療記録（前立腺癌の治療経過、カバジタキセルの投与開始日や投与量、投与回数、有害事象の出現の有無やその内容、カバジタキセル治療後の経過）、血液検査データ（PSA 値の推移）、画像データ（転移の場所、転移巣の縮小や増大といった治療効果判定）

◆情報の研究利用開始日◆

2017年5月1日以降

◆研究方法◆

本研究は後ろ向き研究として過去の診療録から上記情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

泌尿器科 研究責任者 松田 伊織

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明